各教科等学習指導案（項目）

※各教科等に共通している項目です。指導案を作成する際には、各教科等の指導案例を参考にしてください。

１　単元（題材）名

２　単元（題材）設定の理由

1. 児童生徒について
2. 教材（題材）について
3. 指導について

※各教科等の例を参考にしてください。

※教科等の特質により、（１）～（３）の順が異なる場合があります。

３　単元の目標

　※単元の目標を作成するに当たっては、本県が新大分スタンダードに基づいた授業改善を推進していることを踏まえ、指導者の指導の意図や育成を目指す資質・能力を明確にするため、指導者の立場で記述するようにします。

　※単元の目標は、一文で書く場合と、資質・能力の三つの柱に即して三つで書く場合があります。

４　単元（題材）の評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 1. ・・・・・・・・・・・

②・・・・・・・・・・・・1. ・・・・・・・・・・・・
 | 1. ・・・・・・・・・・・

②・・・・・・・・・・・・1. ・・・・・・・・・・・・
 | 1. ・・・・・・・・・・・

②・・・・・・・・・・・・③・・・・・・・・・・・・ |

　※小・中学校とも３観点で書きます。

　※各教科等の単元（題材）の評価規準作成の手順は、「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料（国立教育政策研究所　令和２年３月）を参考にしてください。

参考資料QRコード

５　指導と評価の計画（○時間）

（例）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 小単元名（時数） | ねらい・学習活動 | 評価規準 | 評価方法 |
| 知 | 思 | 態 |
|  |  |  |  |  |  |

　※単元や題材など、内容や時間のまとまりを見通しながら、児童生徒の主体的・対話的で深い学びが実現されるようにします。

　※各教科等の目標の実現に向けた学習状況を把握する観点から、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫して、学習の過程や成果を評価し、指導の改善や学習意欲の向上を図り、資質・能力の育成に生かすようにします。

　※単元（題材）を見通して、教師の指導改善に生かす評価と、総括の資料とするため全ての児童生徒の学習状況を評価して記録に残す場面の位置付けを考えます。

　※「新大分スタンダードのすすめ」（平成31年３月　第３版）を参考にしてください。



　※「早わかり！単元計画の作成手順」も参考にしてください。